

神奈川県立小田原高等学校

# 卒業生の活躍

サイエンス篇

発行: 令和6年(2024年)4月

発行者: 神奈川県立小田原高等学校同窓会 樫友会

電話・ファックス: 0465-20-3281 電子メール: [kenyukai@odako.org](mailto:kenyukai@odako.org)



## サイエンスの世界で 活躍する卒業生

小田原高校は創立以来、多様な分野で指導的な役割を担う人材を輩出してきました。「卒業生の活躍」は、生徒、教職員、保護者、卒業生、及び郷土の人々が、小田原高校が時代を超えて社会に貢献してきたことを知り、豊かな未来を創っていく一助とすることを目的としています。

今回は、サイエンスの世界で活躍する卒業生の活動状況を集めました。令和5年度、小田原高校は、先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成を進めるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を文部科学省から受けました。この「卒業生の活躍」が、SSHの推進に活用していただければ幸いです。

令和6年4月

小田原高校同窓会極友会

# 小田原高校 卒業生の活躍 サイエンス篇

- 02 サイエンスの世界で活躍する卒業生
- 04 朝倉 哲郎氏（高校20回卒）  
東京農工大学 名誉教授
- 06 稲津 敏行氏（高校25回卒）  
東海大学 副学長(理系担当) 工学部応用化学科 教授
- 08 森 恵美氏（高校29回卒）  
千葉大学 副理事
- 10 柏木 俊行氏（高校30回卒）  
ソニー株式会社プリンシパルエンジニア
- 12 福住 伸一氏（高校31回卒）  
国立研究開発法人理化学研究所  
革新知能統合研究センター 副チームリーダー
- 14 田口 真氏（高校35回卒）  
立教大学 理学部 教授
- 16 松本 俊彦氏（高校38回卒）  
国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部部长  
同センター病院 薬物依存症センター長
- 18 中戸川 仁氏（高校45回卒）  
東京工業大学 科学技術創成研究院  
細胞制御工学研究センター 教授
- 20 卒業生の活躍 ①～⑥



## 朝倉 哲郎氏

(高校20回卒)

東京農工大学 名誉教授

専門: 絹利用学・高分子のNMR構造解析

### <経歴>

- 1972年 3月 東京理科大学 理学部 一部化学科 卒業
- 1974年 3月 東京工業大学大学院 理工学研究科 修士課程 修了
- 1977年 3月 同 博士課程 修了 [博士(工学)]
- 1980年 4月 日本大学松戸歯学部理工学教室 助手
- 1981年 2月 東京農工大学工学部 助教授
- 1990年 4月 米国フロリダ州立大学化学科 招聘教授
- 1993年 12月 東京農工大学工学部 教授
- 2015年 4月 東京農工大学 名誉教授・特任教授
- 2021年 4月 東京農工大学 名誉教授
- 2023年 4月 小田原高校SSH運営指導委員

### <主な活動内容>

東京農工大学工学部製糸学科に助教授として着任し、絹とNMRの研究をスタート。

1997-2001年、生研機構大型プロジェクト代表を務め、絹の研究が大きく進展。研究を開始して20年後、家蚕絹の繊維化前構造を決定し、世界初の絹製人工血管を開発、特許・論文や国際会議で発表し、多くの大型プロジェクトに連続して採択。(合計: 各年毎に1億程度の研究費)

2014年には現所属の特任教授として、超高機能構造タンパク質による素材産業革命というインパクトプロジェクトを実施中。

2019-2021年、科研費基盤C(3年間) 題名: 自己再生型の高強度動脈用および高弾性静脈用小口径絹人工血管の開発。

2020-2022年、東大病院・ニプロ共同研究開発プロジェクト(3年間) 題名: 静脈用に特化した絹フィブリンーポリウレタン人工血管の開発(分担)。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

高分子若手奨励賞(1982)、蚕糸学会進歩賞(1986)、繊維学会桜田武賞(1989)、繊維学会賞(1997)、高分子学会賞(2000)、東京農工大学第一回工学府ベストリサーチャー賞(2009)、プラスチック成型加工学会論文賞(2014)、

高分子学会功績賞、繊維学会功績賞(2015)などを受賞。日本核磁気共鳴学会特別講演者(2015)、繊維学会名誉会員(2019)、NMR学会名誉会員(2022)

TBS『夢の扉』出演、中日新聞一面トップに極細1ミリ絹で人工血管の記事掲載(2012)ほか、新聞記事掲載多数

### <高校時代はどんな学生だった?>

高校時代は、どちらかというと目立たない学生でした。

中学時代は毎日サッカーに打ち込み充実していましたので、残念ながら、高校時代の受験勉強は、全くの空白期間でした。

大学に入り、すぐ、大学紛争がありました。自分のこれまでと今後を徹底的に考える機会を得、今後の歩みを決めたのは、この大学での4年間でした。

180度転換、極めて積極になり、今日の土台は、その時に出来上がりました。そういう意味では、4年間の大学生活が大きな転機となりました。

活動などにも所属せず、5、6人の友人と遊ぶなど、地味にのんびり過ごしていたので、残念ながらこういったところで披露するような思い出やエピソードはありません。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

私は工学博士号をとってから3年間、研究室で基礎研究を続けながら、生活のため、下町のめっき会社の顧問をしました。その後、歯学部の助手を1年経験してから東京農工大助教授になりました。回り道のように思え、当時は不本意でした。

でも、今思えば貴重な経験でした。企業での経験があるからこそ、研究成果を実社会でどう生かすかという発想が生まれました。歯学部時代の知り合いとは、現在も共同研究をしています。

自分の専門分野だけでは限界があります。常に大局を見(これは趣味の囲碁から学びました)、国内外を問わず、様々な分野の研究者と協力し、コミュニケーションを密にする。人間関係は極めて大切です。学生は、社会で役立つことを念頭に、誰も取り組んでいない新たなテーマに積極的に挑んでほしい。志があれば、初心は貫徹できます。

・メディア掲載記事(抜粋)

2006/3/2 日経産業新聞 「溶ける縫合糸 強度強く」 絹製の溶ける手術用縫合糸を試作。

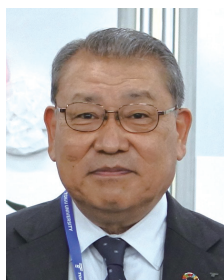
2006/4/27 日経産業新聞 「絹製の人工血管 血栓できにくく」 東京農工大学などの研究グループは、絹製の人工血管を開発。

2007/4/29 毎日新聞 「絹→人工血管 織物の技法活用 血栓を抑制」 絹の繊維を織物の技法で筒状に編んだ人工血管を東京農工大や農業生物資源研究所などの研究グループが作った。

2008/12/22 化学工業日報 「TGカイコのシルク利用 再生医療材料開発プロ 人口血管や皮膚用フィルム 3年で試作品創出 東京農工大・徳島大」 東京農工大学と徳島大学が、東京農工大学朝倉教授をリーダーに、TG(遺伝子組み換え)カイコや大腸菌が生産するシルクを原料に、人工血管や皮膚用フィルムなどの再生医療材料の創製技術を構築し、養蚕業と医療関連産業の連携機会実現を目指すことを紹介。

※このほかのメディア記事掲載記事についてはホームページに掲載しています。

[https://odako.info/pdf/asakura\\_table.pdf](https://odako.info/pdf/asakura_table.pdf)



## 稲津 敏行氏

(高校25回卒)

東海大学 副学長(理系担当)

工学部応用化学科 教授

### <経歴>

- 1977年 3月 東京理科大学 理学部 第1部応用化学科卒業
- 1979年 3月 東京理科大学 大学院 理学研究科化学専攻修士課程修了
- 1982年 3月 東京理科大学 大学院 理学研究科化学専攻修士課程修了・理学博士
- 1982年 4月 財団法人野口研究所 研究部 研究員
- 1989年 4月 財団法人野口研究所 研究部 糖鎖有機化学研究室 主任研究員
- 2003年 3月 財団法人野口研究所 退職
- 2003年 4月 東海大学 工学部 応用化学科 教授(～現在)
- 2004年 4月 東海大学 糖鎖科学研究所 研究員(～2014)
- 2015年 4月 東海大学 マイクロ・ナノ研究開発センター所長(～2019)
- 2015年 4月 東海大学 大学院 総合理工学研究科(博士課程)研究科長(～2020)
- 2019年 4月 東海大学 副学長(理系担当)(～現在)
- 2022年 5月 学校法人東海大学 理事(～現在)

### <主な活動内容>

研究は、有機合成化学を基盤とし、生物有機化学、糖鎖有機化学分野で、特に合成法の開発を中心に研究を行ってきました。糖鎖合成、ペプチド合成、糖ペプチド合成、フルオラス合成などの新規合成法の開発です。

どちらかというと、イチかバチかの博打打ちのような仕事であったと思っています。東海大学に転職した後に、野口研時代のスタッフから私には口癖があると聞かされました。「あー、やっぱりダメだったか」だそうです。

ここまでやって来られたのは、多くの先生方、研究室のスタッフ、大学院生、卒業研究生、周囲の方々に恵まれたことに尽きると思います。

コンソーシアム理事及び監事、日本化学会欧文誌編集委員、東京糖鎖研究会幹事、FCCA幹事、日本シクロデキストリン学会評議員、フルオラス研究会評議員、有機合成化学協会代議員を歴任、特に2009～2011年には日本糖質学会会長、2011～2020年に東京糖鎖研究会会長を務めました。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

- ・日経産業新聞(1997年9月25日)
- ・財団法人野口研究所技術賞(1997)

### <高校時代はどんな学生だった?>

英語の授業が能力別で行われ、上のクラスから下のクラスへ落とされた時のことは鮮明に記憶しています。

化学は好きでした。担当の島津先生は厳しかったですが、周期表の暗記など今でも先生のおかげと感謝しています。

3回の小田高祭はすべて全力でした。西遊記の劇やタイムトンネル(お化け屋敷)など、楽しい思い出です。3年時の小田高祭仲間と卒業後に熱気球を作りました。この気球作りは私の人生に大きな影響をもたらしました。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

科学の世界では、 $1+1=2$ にならないことが多々あります。答えを求めるのではなく、そのプロセスを理解し、時には楽しむことが重要です。

加えて、運も実力のうちと言われますが、自分で運をつかみ取ってください。その方法は、私にも未だわかりませんが、きっと目の前の課題に全力でぶつかっていくことではないかと思っています。



大学時代の気球グループの仲間と



講演中の様子



## 森 恵美氏

(高校29回卒)

千葉大学 副理事

### <経歴>

- 1981年 3月 千葉大学看護学部卒業
- 1981年 4月 総合母子保健センター附属愛育病院、助産師
- 1987年 4月 千葉大学院看護学研究科入学
- 1989年 3月 千葉大学院看護学研究科修了、修士(看護学)取得
- 1989年 4月 日本赤十字看護大学助手、1991年より同大学講師
- 1993年 4月 千葉大学看護学部 助教授
- 1994年 3月 博士(医学)取得(山形大学)
- 2000年 4月 千葉大学看護学部教授、  
2009年4月より千葉大学大学院教授(～現在)
- 2007年 4月 千葉大学看護学部長/看護学研究科長(～2009年3月)
- 2014年 4月 千葉大学副理事(ダイバーシティ推進担当)

### <主な活動内容>

千葉大学卒業後6年間助産師として勤務し、愛育研究所の研究に協力。大学院修了後は助手と並行し山形大学の研究生となり1994年に博士(医学)を取得。1989年から看護学部の母性看護学教育と助産師教育を担当し1993年からは大学院教育も担当。研究領域は不妊看護、母性看護学。2011年2月～2013年度最先端・次世代研究開発支援プログラム(NEXTプログラム)の次世代研究者に選ばれ「日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインの開発」という研究テーマで大型研究費8,000万円(直接経費)を獲得。この採択直後の3月に東日本大震災が起こり、数々の困難があったが研究グループ内の共同と多方面からのご支援により多くの研究成果を国内外に発表し、社会貢献や人材育成にもつながり研究者としての使命を果たせた事を誇りに思っている。その後も文科省科学研究費基盤研究(A)に3回連続で選定され、現在も初産夫婦の子育て支援の研究中である。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

平成7年度日本母性衛生学会学術奨励賞受賞(1995)、文部科学省科学研究

費補助金審査員表彰(2010)、FIRSTシンポジウム「『科学技術が拓く2030年』へのシナリオ」におけるNEXライフ・イノベーション・ポスターセッション銅(2014)、(公財)日本医療機能評価機構EBM医療情報(Minds事務局)診療ガイドラインに「日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドライン」が選定(2016)、平成28年度日本母性衛生学会学術論文賞受賞(2016)、第13回日本母性看護学会学術論文賞受賞(2019)、Best Poster Presentation Award: Third Place(22nd EAFONS, 2019)、Poster award-3rd place(14th International Family Nursing Conference, 2019)、令和元年度日本母性衛生学会学術論文賞受賞(2019)等

### <高校時代はどんな学生だった?>

特に目立つことがなかった学生だったと思います。運動音痴ですが、何かスポーツサークルに入って身体を動かしたいと思い、バドミントン部に他の4人の女子学生と入部しました。遊びとスポーツのバドミントンの違いを知った体験で、途中からマネージャーのような存在で所属させてもらいました。クラブ活動はかるた同好会に所属しました。

勉強は中間、期末テストに頑張り、2年時はトランプ(ナポレオン、大貧民)に夢中になり、夏は学校帰りに友達と寄り道して甘味店でかき氷を食べながらおしゃべりするのが楽しみでした。背伸びしてコーヒー専門店でウイナーコーヒーを飲んだのも良い思い出です。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

私の家は裕福ではなく3人姉妹の長女でしたので、父からの進学必須条件は国立大に現役合格、大学卒業後の就職(社会貢献)でした。高2の進路相談時でも志望大学は決まっておらず、担任の先生からは希望もしていないお茶大は無理だが奈良女なら受かるかなと言われ、ようやく志望大学を自分で考えるようになりました。受験勉強を本格的に始めたのも高3夏休みでかなり出遅れましたが、第1志望の千葉大看護学部にも幸運にも入学できました。

この経験と大学教員として多くの学生を育てた経験からの意見ですが、高校時代に大卒後の将来どのような人になりたいのか自分の使命を考え、志望大学を検討することが重要だと思います。また、グローバル化が進行した「まさかの時代」だからこそ、次世代の皆様には経済的な制約等でご自分の将来をあきらめないで挑戦していただきたいです。私が今このように教育研究を通して社会に貢献させていただけるのは、家族・親友や恩師・同僚だけでなく、私の人生において有形無形のご支援をいただいた多くの皆様のお陰と思っています。

出合いは人には作れませんので、一期一会を大切にしてくださいね。



## 柏木 俊行氏

(高校30回卒)

ソニー株式会社プリンシパルエンジニア

専門:ブルーレイディスク

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

#### ◇執筆

1994年6月 光ディスクのマスタリング技術の現状と課題 大木裕共著

光学 23(6)、p354-357, 1994-06 応用物理学会分科会日本光学会

1995年9月 ハイビジョン記録技術 テレビジョン学会編 コロナ社 柏木俊行共著

2004年7月 PTM Mastering :the Best Solution

投稿先 One to One United Business Media Toshiyuki Kashiwagi

2005年2月 映画テレビ2月号 (社)日本映画テレビ技術協会

次世代光ディスク規格 Blu-ray Disc技術概要

～REとROMとRの統一規格～ 柏木俊行共著

2006年12月 図解 ブルーレイディスク読本 オーム社 柏木俊行共著

2011年1月 Q&A エレクトロニクスと高分子 財団法人 科学技術戦略推進機構

ブルーレイディスクの開発動向と使用される高分子材料について 柏木俊行

2011年8月号 月刊発明

2011年 研究開発リーダー 8(6),38-42,2011-09 古木基裕共著 技術情報協会

2013年1月31日 ワイドギャップ半導体 あけぼのから最前線へ

日本学術振興会 培風館 5.1章Blu-ray™光記録システム 柏木俊行

2022年3月 NHK ワールドJAPAN、Japan's Top Inventionにてブルーレイ

開発ストーリー紹介

2023年4月 高校物理(第一学習社)の教科書に光ディスクのピットの電子顕

微鏡写真が掲載

#### ◇受賞

平成23年度全国発明協会 恩賜発明賞

2014年7月国際規格開発賞(ISO化)

平成27年度文部科学大臣表彰科学技術賞開発部門

平成28年度春 紫綬褒章

◇BDA(Blu-ray disc Association)役員

2007～2010 TEG(Technical Expert Group)1 Chair

2011～2016 TEG6 Vice Chair

2007～2015 JTC ソニー代表

◇国際標準化ISO/IEC SC 23 専門委員会(2012年12月～

一般社団法人 情報処理学会 情報規格調査会

情報交換及び保存用デジタル記録再生媒体 エキスパート 柏木俊行

ISO/IEC 30193編集(2013年7月1日発行)

◇一般財団法人光産業技術振興協会(2013年11月～)

光ディスク標準化委員会 メディア専門委員会 委員

JIS(日本工業規格)編集

◇特許

2008年度 社内表彰案件(DVD2層)2級US6111851 ほか2件

### <高校時代はどんな学生だった?>

高校、大学時は、何のために勉強するのか、何のために生きるのか等を悩んだ時期であり、何かの部に属して青春を謳歌する人間ではありませんでした。

私の家は秦野の山奥にあり(駅から30分)ただ遅刻しないようひたすら走って駅まで行き、なぜ毎日、こんなことを繰り返さないといけないか悩みました。

高校2年のとき、担任の世界史の先生に思い切って、“何のために勉強するのか”聞いたところ、“お前、大学に行って馬鹿にされたくないのか?”と言われ、愕然とし、大学に入って馬鹿にされないためになんか勉強したくないと思い、1学期、世界史の成績は9だったのですが2学期以降は赤点すれすれの4に落ち込んだという経緯もあります。

小さいころから常に、あらゆることに疑問を持ち、周りの人に問いかけ、そんな理屈っぽい人間だったと思います。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

みなさん、夢を持ち、自分の好きな道を歩めと言いますが、私自身、いまでも、何が夢なのか、果たして自分の好きな事をやって来たのかと思うと必ずしもそうではありません。

いろいろ大きな對外受賞をして感じたのは、人間みな同じだということです。

敢えて言うなら、Better late than neverでしょうか。

人生、もう遅いということは無いと信じています。

ソニー創業者の一人である盛田昭夫さんは、60歳過ぎてテニスやスキューバダイビングを始めたそうです。

私も昨年から、思い切ってギターとピアノを始めました。

勉強も学生時代はさんざん悩みましたが、40歳過ぎてから勉強が好きになりました。

いまでもブルーボックス等科学技術の本を読んでいます。





## 福住 伸一氏

(高校31回卒)

国立研究開発法人理化学研究所  
革新知能統合研究センター  
副チームリーダー

### <経歴>

- 1984年 3月 慶應義塾大学工学部卒業、1986年3月管理工学科修士了
- 1986年 4月 日本電気(株)入社(～2018年3月)
- 1991年 3月 慶應義塾大学 工学博士
- 2014年 4月 はこだて未来大学 客員教授(～2015)
- 2016年 4月 人間工学専門家認定機構長/日本人間工学会理事(～2020年)
- 2018年 4月 国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター入所
- 2020年 6月 ISO/TC159(人間工学)/SC4- ISO/IEC JTC1/SC7(ソフトウェア工学) 国際会議共同議長(～現在)
- 2021年 2月 公立千歳科学技術大学客員教授(～現在)
- 2021年 4月 東京都立大学客員教授(～現在)
- 2022年 4月 国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター副チームリーダー

### <主な活動内容>

大学時代はテニスばかりやっていたのですが、大学4年時に出会った「人間工学」という学問に心を動かされ慌てて勉強し大学院に進学。(入試面接の際、学科の教務主任教授から「君はこの成績で大学院に行くつもりか!」と怒られましたが学科試験がクリアできていたのでセーフでした)。就職もこの領域の研究ができる所を探しました。それから40年近く小さなテーマ変更はあったにせよ、学生時代からの研究が続けられるのは幸せ(ある意味不器用)です。口の悪い指導教授から「人間工学なんてやっても儲からないからさっさとやめなさい!」と言われ続けたのですが、卒業後20年位して「君はまだそんな事をやっているのか。『僕に似て』諦めが悪い奴だな」と言われ、やっと認められたような気がして嬉しかったですね。この言葉が支えになり、先生が立ち上げた人間工学の国際標準の国内委員会を引き継ぎ活動できています。企業では儲からない事などやり続けられないので、いかに会社の役に立つ研究なのかを説明し続けていました。確かに諦めが悪いですね。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

- ・日本人間工学会認定人間工学専門家(2003)
- ・2021年度経済産業省産業標準化事業 経済産業大臣賞(2021)
- ・NPO法人人間中心設計推進機構 HCD研究発表会優秀講演賞(2020)
- ・ULAERGO(ラテンアメリカ人間工学連合)貢献賞(2016)
- ・福住、笠松:「製品開発のためのHCD実践」近代科学社(2021)
- ・福住、平沢、小林:「ユーザビリティのための産業共通様式と人間中心設計プロセス-国際標準の全貌とその使い方」日本規格協会(2021)
- ・福住、西山、梶谷、北村:「事例で学ぶ 人を扱う工学研究の倫理」近代科学社(2023)
- ・平沢、福住(編著):「顧客経験を指向するインタラクション」小樽商大出版(2023)
- ・YouTube『RIKEN Channel』新着動画(新型コロナウイルスとの戦い Vol.3):「テレワークが人間に与える影響の調査・改善策の策定」

### <高校時代はどんな学生だった?>

勉強は試験の1週間前位だけで、テニスやロック同好会で楽しんでいました。ただ、そんなに目立つ方ではなかったと思います(周りに色んな意味で凄い人が沢山いたから)。自由な校風だったので、わりと好き勝手にしていたように覚えています。高2の終わり頃に理系か文系で迷っていた時に担任の先生から「お前は文系に向いているからそっちにしろ」と言われ続け、そこまで言う理由を伺った所「文系の人数が一人足りないから」とのことでした。それに反発し理系に進んだのですが、それが無ければ今の私はなかったかもしれませんね。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

高校時代は何か1つを集中してやった事が無いので、ちょっと後悔はありますが、色々な事に興味を持つのは悪い事ではないかな?とも思います。また、学生時代でないとできない事が沢山あります。勉強は卒業した後でも一生できますが、部活や様々な学外活動は学生時代でないとできませんし、その時苦楽を共にした仲間は一生の宝物になります。若い時は多少欲張って色々な事に手を出しても、何とかやっていけるもの。自分で限界を決めずに楽しんでください(もちろん健康第一で)。



## 田口 真氏

(高校35回卒)

立教大学 理学部 教授  
専門: 惑星大気物理学

### <経歴>

1987年 3月 東北大学理学部卒業  
1989年 3月 東北大学大学院理学研究科修士課程修了  
1991年 1月 東北大学大学院理学研究科博士課程中退  
1991年 1月 東北大学理学部助手  
1995年 3月 東北大学より博士(理学)の学位取得  
1996年 9月 国立極地研究所助教授  
2000年 7月 第42次日本南極地域観測隊員(2002年3月まで)  
2007年 4月 JAXA宇宙科学研究所客員助教授(のち客員教授)(併任)  
(2011年3月まで)  
2008年 4月 立教大学理学部教授  
2009年 8月 文部科学省学術調査官(併任)(2011年7月まで)  
2012年 4月 国立極地研究所客員教授(併任)

### <主な活動内容>

研究の専門分野は地球や惑星の超高層大気物理学。東北大学大学院から助手の時代は赤外分光によりオゾン層を研究し、この研究により学位を取得しました。

日本初の火星探査機「のぞみ」に搭載された紫外撮像分光計の開発に携わりました。

国立極地研究所に異動した後はオーロラの研究を始めました。オーロラ観測のために、2001年に日本南極地域観測隊員として南極昭和基地で越冬したほか、米国マクマード基地や南極点基地を訪れました。

月探査衛星「かぐや」超高層プラズマイメージャ副主任研究者、金星探査機「あかつき」中間赤外カメラ主任研究者を勤めました。現在、立教大学で物理学及び惑星・宇宙科学を教えつつ、惑星大気やオーロラを研究しています。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

・Antarctica Service Medal of the United States of America (1999)

・学術論文(査読付き)

Fukuhara et al., Large stationary gravity wave in the atmosphere of Venus, Nature Geoscience, doi:10.1038/NCEO2873, 2017. (Corresponding Author: M. Taguchi)

他60編以上

### <高校時代はどんな学生だった?>

高校時代はサッカー部活動の傍らで、週末に時間があると徹夜で望遠鏡で星を眺めていました。そのときからの興味が現在の職につながっています。サッカー部では練習がきつかった思い出しかありませんが、そのおかげで少々肉体的苦痛には耐えられる心身が培われて、今の研究活動に役立っていると思っています。3年生のクラスでは一丸となって臨んだ体育祭や文化祭の打ち上げが大いに盛り上がった記憶があります。今年の正月に久しぶりにその時の同級生と会いました。なんと、卒業以来毎年欠かさずに1月2日に同窓会をやっていたのだそうです。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

月並みですが、人生は一度きりです。自分がやりたいことを見つけて、あきらめずにそれを追い求めましょう。

立教大学は文系の大学だと思っている人が多いかも知れませんが、理学部もあります。宇宙に興味がある人は是非来て下さい。



1998年 南極点基地 オーロラ観測装置設置



2001年 南極観測隊 昭和基地



2012年 北海道大樹町 気球実験



## 松本 俊彦氏

(高校38回卒)

国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部部長  
同センター病院 薬物依存症センター長

### <経歴>

1993年 3月 国立佐賀医科大学卒業  
1993年 4月 横浜市立大学医学部附属病院 臨床研修医  
1995年 4月 国立横浜病院精神科シニアレジデント  
1996年 4月 神奈川県立精神医療センター 医師  
2000年 4月 横浜市立大学医学部精神医学教室 助手  
2004年 1月 国立精神・神経センター精神保健研究所  
司法精神医学研究部 専門医療・社会復帰研究室長  
2007年 4月 同 研究所 自殺予防総合対策センター 自殺実態分析室長  
2010年 4月 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
自殺予防総合対策センター 副センター長  
2015年 4月 同研究所 薬物依存研究部 部長  
2017年 4月 国立精神・神経医療研究センター病院  
薬物依存症センター センター長 兼務

### <主な活動内容>

薬物依存症と自殺予防を専門とする精神科医として、かれこれ30年間活動してきました。なかでも、薬物依存症の治療法を開発して国内各地への普及に努めるとともに、薬物依存症に対する苛烈なメディア報道を変え、薬物依存症が「回復できる病気」であることの啓発に尽力してきました。心の残っているのは、そうした啓発活動の中では、厚生労働省のイベントで元プロ野球選手の清原和博さんや元俳優の高知東生さん、元「歌のお兄さん」の杉田あきひろさんらと共に演じたり、TBSラジオの荻上チキさんの番組で、自身が策定にかかわった「薬物事件報道ガイドライン」の特集に出演したことがあげられます。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

#### 【受賞歴】

- ・星和書店「精神科治療学」優秀論文賞(2006)
- ・日本犯罪学会学術奨励賞(2011)
- ・日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞(2017)
- ・Neuropsychopharmacology Reports Topic Award 2021(2021)
- ・日本エッセイストクラブ賞(2022)

#### 【主著】

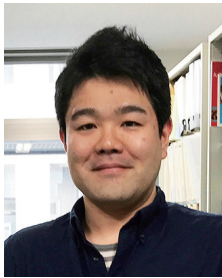
- ・「自傷行為の理解と援助」日本評論社(2009)
- ・「アディクションとしての自傷」星和書店(2011)
- ・「自傷・自殺する子どもたち」合同出版(2014)
- ・「アルコールとうつ、自殺～『死のトライアングル』を防ぐために」岩波書店(2014)
- ・「自分を傷つけずにはいられない」講談社(2015)
- ・「もしも「死にたい」と言われたらー自殺リスクの評価と対応」中外医学社(2015)
- ・「薬物依存症」筑摩書房(2018)
- ・「誰がために医師はあるークスリとヒトの現代論」みすず書房(2021)
- ・「世界一やさしい依存症入門」河出書房新社(2021)

### <高校時代はどんな学生だった？>

高校時代はお世辞にも模範的な生徒ではありませんでした。今だから言えますが、たまり場となっていた友だちの家で夜な夜な酒盛りをしたり、学校をサポートは小田原市立図書館で様々な本を乱読する毎日でした。そのせいで1年浪人してしまいましたが、図書館での乱読経験は、後に精神科医としての底力になったと確信していますし、自身の著書が2022年の日本エッセイスト・クラブ賞を受賞できたことに大きな影響を与えていると思います。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

たくさん遊び、たくさん学び、できるだけ多くの本を貪り読んで、自身の発想の引き出しを増やしてください。



## 中戸川 仁氏

(高校45回卒)

東京工業大学 科学技術創成研究院  
細胞制御工学研究センター 教授  
専門: 分子細胞生物学

### <経歴>

- 1997年 3月 中央大学 理工学部 応用化学科 卒業
- 1999年 3月 京都大学大学院 理学研究科 化学専攻 修士課程 修了
- 2002年 3月 同 博士後期課程 修了 [博士(理学)]
- 2002年 4月 日本学術振興会 特別研究員
- 2005年 4月 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 大隅良典研究室  
助手／助教
- 2009年 4月 東京工業大学 大隅良典研究室 特任助教
- 2011年 5月 東京工業大学 大隅良典研究室 特任准教授
- 2014年 6月 東京工業大学 生命理工学研究科 准教授
- 2016年 4月 東京工業大学 生命理工学院 准教授(改組による名称変更)
- 2023年 4月 東京工業大学 科学技術創成研究院 教授 現職

### <主な活動内容>

京都大学大学院理学研究科にて遺伝情報の発現の仕組みを研究し、博士号を取得後、2004年より当時基礎生物学研究所にあった大隅良典教授(現・東京工業大学栄誉教授、2016年ノーベル生理学・医学賞受賞)の研究室に加わって以降、一貫してオートファジーという生命現象の研究に取り組んできた。2014年には現所属の准教授として独立し、現在、10人余りの大学生、大学院生を指導しながら研究・教育活動をおこなっている。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

- ・井上研究奨励賞(2003年、井上科学振興財団)
  - ・日本生化学会奨励賞(2013年、日本生化学会)
  - ・文部科学大臣表彰 若手科学者賞(2014年、文部科学省)
  - ・日本学術振興会賞(2017年、日本学術振興会)などを受賞。
- 2015年にNature誌に報告した研究成果は、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞等、新聞各紙で報じられ、NHKのサイエンスゼロでも紹介された。

### <高校時代はどんな学生だった?>

部活動などにも所属せず、5～6人の友人と遊ぶなど、地味にのんびり過ごしていたので、残念ながらこういったところで披露するような思い出やエピソードはありません。

### <在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ>

自分が真に打ち込めることは何であるかを見極めることを意識して、日々を過ごして欲しいと思います。



2016年ノーベル生理学・医学賞受賞の大隅良典教授と



2017年日本学術振興会賞受賞式の様子

# 卒業生の活躍

- 1 ( )内は卒業回数を示す。例えば、中16は旧制小田原中学校第16回卒業生、高15は小田原高校第15回卒業生、④は修業年限4年制、⑤は5年制。  
2 掲載順は卒業回数順としている。  
3 〈新世代〉は若い世代の卒業生を示す。

## 【皇 族】

閑院 純仁(中16) 閑院宮第7代春仁王殿下。閑院宮は伏見宮、桂宮、有栖川宮と並ぶ江戸時代の四世襲親王家の一つで、新井白石の進言により創立。後桃園天皇に皇子がなく、閑院宮から光格天皇が皇位継承、以来、皇統が現在の天皇まで続く。陸軍少将、貴族院議員、終戦後に皇籍離脱

## 【政 治】

広瀬 与兵衛(中4) 参議院議員、自由党副会長、第4次吉田内閣・文部政務次官、サンフランシスコ講和条約締結の講和会議派遣国会議員団員、日本薪炭社長、東京都燃料卸商業組合理事長、全国燃料団体連合会長  
小金 義照(中10) 衆議院議員、郵政大臣  
河野 一郎(中12) 衆議院議員、自由民主党総務会長、農林大臣として日ソ国交回復を実現、建設大臣・副総理・東京オリンピック担当国務大臣として昭和39年の東京オリンピック開催に尽力、副総理・体育振興スポーツ担当大臣、日本陸上競技連盟会長、主著『明日の日本をつくる』、小田原市名誉市民、平塚市名誉市民、河野謙三(中15)は実弟  
河野 謙三(中15) 参議院議員、衆議院議員、参議院議長として参議院改革を推進、日本陸上競技連盟会長・日本体育協会会長・モントリオールオリンピック日本選手団団長として日本のスポーツ発展に貢献、主著『スポーツと人生』、平塚市名誉市民、河野一郎(中12)は実兄  
中井 一郎(中20) 神奈川県会議員、小田原市長(4期)、全国市長会会長、小田原市名誉市民、中井賢二(中27)は実弟  
小沢 武夫(中21) シカゴ総領事、駐チェコスロバキア大使  
内藤 誉三郎(中25) 文部事務次官、参議院議員、文部大臣、大妻女子大学学長  
木村 剛輔(中30) 衆議院議員、小田原女子短期大学(現小田原短期大学)理事長兼副学長  
神原 富比古(中33) バンクーバー総領事、釜山総領事  
戸澤 政方(中33) 衆議院議員、厚生事務次官、社会保険庁長官、全国国民健康保険組合協会会長  
安藤 裕康(高15) 外務省中東アフリカ局長、ニューヨーク総領事、駐イタリア大使、国際交流基金理事長  
山口 英一(高19) 外交官、ストラスプール総領事、駐コスタリカ大使、駐バチカン大使

## 【経 済】

尾山 和勇(中7) 横浜ゴム株式会社社長・会長  
岩瀬 英一郎(中8) 三井銀行ニューヨーク支店長、株式会社三越社長、日本経営者団体連盟常任理事、日本百貨店協会会長、戦後三越を再建  
内野 敬介(中10) 内野株式会社創業・社長・会長、日本で初めてジャガード織を開発した老舗のタオル製造・卸企業、関東大震災で全財産をなくし借金を背負い、東京に出て苦勞して昭和12年に繊維業として創業  
小林 芳夫(中10) 株式会社ミドリ十字社長・会長、大手医薬品メーカー  
稲垣 伝次郎(中13) 稲垣伝次郎商店(砂糖卸販売)社長、稲垣万吉株式会社(砂糖・食料品卸売業)会長、東京砂糖取引所理事、東京砂糖卸協同組合理事長、全国砂糖卸商同業会副会長、全国連合会会長  
(常盤 英雄)  
岩堀 喜之助(中23) 平凡出版株式会社(現株式会社マガジンハウス)創業・社長・会長、若者向け娯楽雑誌「平凡」「週刊平凡」「平凡パンチ」を創刊し、戦後の出版文化を創り出す、長女でノンフィクション作家の新井恵美子是小田原城内高校第9回卒業生  
永山 時雄(中24) 白州次郎と通商産業省(現経済産業省)を創設、通産省初代官房長、昭和石油株式会社社長、昭和シェル石油株式会社会長、石油鉱業連盟会長、日本経済団体連合会副会長  
飯田 道雄(中26) 京浜急行電鉄株式会社取締役社長・相談役  
普川 茂保(中26) 日本信託銀行株式会社(現三菱UFJ信託銀行株式会社)社長・会長・取締役相談役、三菱銀行と経営統合の基盤を作る  
鈴木 正長(中28) 日本水産株式会社社長・会長、小田原信用金庫(現さがみ信用金庫)理事長  
近藤 道生(中32) 国税庁長官、株式会社博報堂代表取締役社長・会長・最高顧問  
内田 六郎(中34) アロカ株式会社社長、脳腫瘍等の超音波診断装置を世界で初めて開発  
小瀬 進(中36) 国鉄(現JR東日本)上野駅駅長、開業明治16年、東北本線・常磐線等の発着駅で東京の北の玄関口として発展  
武井 良平(中38) 帝国繊維株式会社社長  
里見 泰男(中39) 大成建設株式会社社長  
関口 清(中40⑤) 湯浅電池株式会社副社長、株式会社ユアサコーポレーション(現株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション)取締役会長  
田辺 辰男(中40④) 日清紡績株式会社社長、日本経営者団体連盟(現日本経済団体連合会)副会長  
秋山 祐介(中41) 山の上ホテル支配人、川端康成、三島由紀夫、池波正太郎、檀一雄らの作家が定宿とし、「文化人のホテル」として知られる  
井上 誠一(中42) 石川島播磨重工業株式会社(現株式会社IHI)副社長、石川島播磨重工業は三菱重工業、川崎重工業と共に三大重工業の一つ  
普川 光男(中44) 日清製油株式会社社長・会長

渡辺 晴郎(高1)	丸紅株式会社副社長・常任顧問、丸紅は三菱商事、三井物産、伊藤忠商事、住友商事と共に五大商社の一つ
和田 晃昌(高2)	株式会社八百半デパート社長、世界15か国で店舗を運営した小売・流通チェーン、実母で八百半デパートを築き上げた和田カツは小田原高等女学校第15回卒業生
簗島 清人(高8)	第9代帝国ホテル東京総支配人、株式会社帝国ホテル専務取締役、帝国ホテルは1890年開業の日本を代表する高級ホテル
奥津 和彦(高9)	新宿コマ劇場支配人、「演歌の殿堂」として知られ、数々のミュージカルも上演
山岸 孝行(高9)	ミネベア株式会社(現ミネベアミツミ株式会社)代表取締役及び社長執行役員、取締役相談役
大橋 一彦(高12)	株式会社フジクラ取締役社長・会長
石塚 正孝(高13)	東海旅客鉄道(JR東海)株式会社代表取締役副社長、東海旅客鉄道は三大都市圏の大動脈である東海道新幹線を運営し、リニア中央新幹線事業を推進している旅客鉄道会社、NHK特別主幹
杉田 力之(高13)	株式会社第一勧業銀行頭取、株式会社みずほホールディングス初代社長、株式会社みずほフィナンシャルグループ名誉顧問、全国銀行協会会長
山口 学(高16)	株式会社関電工代表取締役社長・会長
山本 忠人(高16)	富士ゼロックス株式会社代表取締役社長・会長
瀬戸 薫(高18)	ヤマト運輸株式会社代表取締役会長、ヤマトホールディングス株式会社代表取締役社長・会長・相談役、徹底的にエンドユーザーの立場に立って「宅急便」「クール宅急便」の開発を手がける
磯崎 功典(高24)	キリンビール株式会社代表取締役社長、キリンホールディングス株式会社代表取締役社長・会長最高経営責任者(CEO)、変化する社会を生き抜くためクラフトビール事業とヘルスサイエンス事業の両方に取り組む
樋口 俊一郎(高24)	財務省近畿財務局長、財務総合政策研究所長、東京税関長、大臣官房政策評価審議官、中央大学客員教授、日本証券金融株式会社執行役副社長
石井 時明(高27)	富士見斎場株式会社創設・代表取締役・会長、神奈川葬祭業協同組合理事長、全日本葬祭業協同組合連合会会長、国際葬儀連盟(FIAT-IFTA)国際会議出席
掬川 正純(高30)	ライオン株式会社社長兼最高執行責任者(COO)
石塚 啓(高31)	三菱UFJニコス株式会社代表取締役社長兼社長執行役員
長坂 嘉昭(高34)	株式会社プレジデント社代表取締役社長
福井 泰代(高36)	株式会社ナビット代表取締役社長、「のりかえ便利マップ」開発
杉山 雄一(高44)	プレイステーション用ゲームソフトXI(サイ)開発で慶応大学塾長賞、株式会社シフト(ゲームソフト制作)創業・代表取締役、主な

樋口 敦士(高47)	製品は家庭用ゲーム「CODE VEIN」「GOD EATER RESURRECTION」、スマホ・モバイルアプリ「Wonder Flash」「GUNS N' SOULS」等(新世代)
水島 育大(高53)	Hamee(ハミイ)株式会社代表取締役社長・会長 Hamee(ハミイ)株式会社代表取締役社長
<b>【法 曹】</b>	
奥津 一郎(中3)	サイパン島地方法院長・判事、地方法院は戦前の台湾・朝鮮・南洋群島等に置かれた地方裁判所
中田 満蔵(中6)	長野地方裁判所判事、沼津区裁判所判事、東京地方裁判所判事
村松 俊夫(中15)	東京控訴院判事、東京高等裁判所判事
奥野 利一(中18)	東京地方裁判所判事、東京高等裁判所判事
横溝 準之助(中26)	東京高等検察庁検事
瀬戸 正二(中28)	東京地方裁判所判事、東京高等裁判所判事、宇都宮地方裁判所長
柏木 賢吉(中31)	横浜地方裁判所判事、名古屋高等裁判所判事
山田 一夫(高3)	水戸地方検察庁検事、東京地方検察庁検事
山田 史郎(高3)	仙台地方検察庁検事
山崎 源三(高5)	日本弁護士連合会副会長、第一東京弁護士会会長、山崎総合法律事務所
下沢 悦夫(高12)	山形地方裁判所判事
古川 元晴(高12)	法務省刑事局参事官、内閣法制局参事官、最高裁判所研修所上席教官、法務省官房総務審議官、甲府・広島・京都各地方検察庁検事正、原発事故捜査に詳しい
瀬戸 英雄(高18)	日本航空管財人統括、企業再生支援機構委員長として京セラ稲盛和夫と日本航空再生を主導
杉崎 茂(高19)	日本弁護士連合会副会長、杉崎茂法律事務所、弁護士
<b>【学術・教育】</b>	
大角 真八(中1)	あそか病院初代院長、専門は細菌学、鼠咬症の研究で帝国学士院東宮御成婚記念賞、あそか病院は関東大震災に際し西本願寺が設置した罹災者救護所から始まり、その医長となって社会福祉の医療事業に尽力
関 重広(中5)	東京芝浦電気株式会社(現株式会社東芝)で日本初の蛍光灯照明を開発、「照明の父」と称される、専門は電気工学、主著『照明技術』、小田原女子短期大学(現小田原短期大学)学長、神奈川文化賞
比企 能達(中8)	日本大学学長、国立がんセンター総長、日本医師会副会長、専門は病理学・内科学、平塚市名誉市民
相田 二郎(中12)	東京帝国大学史料編纂官、専門は日本中世史・日本古文書学、『大日本古文書』編纂、主著『中世の関所』
岩竹 松之助(中12)	芝浦工業大学次長、芝浦工業短期大学学長
石原 恵三(中18)	前橋医科大学教授、群馬大学第一外科初代教授、群馬大学学長
加藤 金三(中18)	上武大学学長、専門は経済学

酒井 恒(中18) 横浜国立大学教授・学芸学部長、日本甲殻類学会会長、神奈川県自然保護協会会長、日本のカニ1000種のうち125種以上を新種として発表、主著『日本産蟹類』等、昭和天皇の生物学研究の相談相手、神奈川文化賞、紺綬褒章、勲三等旭日中綬章、従三位叙位、大井町名誉町民

坂本 進(中18) 静岡大学教育学部長・名誉教授、聖徳学園岐阜教育大学(現岐阜聖徳学園大学)学長、聖徳学園女子短期大学(現岐阜聖徳学園大学短期大学部)学長

小沢 知雄(中31) 東京農業大学理事・名誉教授、専門は造園学、芝の日射要求度の研究で日本造園学会賞、日本造園学会会長

田中 昭二(中40⑤) 東京大学名誉教授、超電導技術の世界的権威、国際超電導産業技術研究センター副理事長・顧問、超電導工学研究所長、リニア新幹線の高温超電導コイルを開発、紫綬褒章、勲三等旭日中綬章

熊沢 喜久雄(中40④) 東京大学名誉教授、農学における同位元素の利用と植物の窒素栄養を研究、日本土壤肥料学会会長、日本農学会会長

大曾根 章介(中42) 中央大学教授、専門は平安文学・漢文学、主著『王朝漢文学論攷』、『新日本古典文学大系』編集委員

坂本 鉄男(中42) 国立ナポリ東洋大学教授、専門はイタリア文学、産経新聞コラム「イタリア便り」でイタリア文化会館マルコ・ポーロ賞、日伊文化交流への功績でイタリア共和国功労勲章コンメンダトーレ章、主著『現代イタリア文法』『椿姫』

二見 修次(中43) 昭和音楽大学学長、昭和音楽大学短期大学部学長

大内 秀明(高3) 東北大学名誉教授、東北科学技術短期大学学長、専門はマルクス経済学

杉山 晃一(高3) 東北大学文学部文化人類学専攻初代教授・名誉教授、アジア稲作民族の社会と文化を实地調査により比較研究、主著『稲のまつり アジアの村々を訪ねて』

半田 譲二(高3) 滋賀医科大学医学部脳神経外科学講座初代教授・副学長・付属病院長・名誉教授、日本脳神経CI学会会長

伊澤 秀而(高4) 岡山大学教授、倉敷市立短期大学学長、川崎医療福祉大学副学長、専門は科学教育

杉山 秋雄(高4) 神奈川工科大学教授・学長、専門はイギリス文学

湯山 明(高4) 国際仏教学大学院大学の国際仏教学研究所有長、創価大学の国際仏教学高等研究所名誉教授、専門は印度哲学、坂本日深学術賞(坂本立正大学学長の遺志により優れた法華経研究に贈られる賞)、日本印度学仏教学会評議員

石川 昭(高5) 米国ラトガース大学管理大学院教授、青山学院大学名誉教授、専門は経営学、テキサス大学ICC研究所シニア・リサーチ・フェロー、日本危機管理学会名誉会長、日本経営会計学会名誉会長

小泉 千秋(高5) 東京水産大学学長・名誉教授、専門は水産化学、日本水産学会

会長・名誉会員

近藤 正樹(高5) 白梅学園大学名誉教授、日本蟻類研究会を創設し会長を務め、全国的な組織に発展させる

田中 彰一(高5) 東京大学名誉教授、専門は資源開発工学、経済産業省メタンハイドレート開発検討委員会委員長、文部科学大臣表彰の科学技術賞(研究部門)

天野 郁夫(高6) 東京大学名誉教授、専門は教育社会学、日本の高等教育の構造分析等を研究、日本教育社会学会会長、日本高等教育学会初代会長

鈴木 隆介(高7) 中央大学理事・副学長・名誉教授、地形学を岩石制約論の実証により飛躍的に発展させる、日本地形学連合を創設し会長を務め、学会誌「地形」を国際誌に育てる、国際地理学会(IAG)日本代表

伊沢 紘生(高10) 宮城教育大学名誉教授、専門は霊長類学、野生ニホンザルの生態調査を続け、ボスザル中心のヒエラルキー社会が見られないことを発見、主著『ニホンザルの生態 豪雪の白山に野生を問う』

大野 正夫(高11) 高知大学海洋生物教育研究センター長・名誉教授、専門は海洋植物学、国際海藻シンポジウム(世界最大の海藻学術会議)のマリナグ賞最優秀賞、主著『図鑑・海藻の生態と藻礁』『21世紀の海藻資源』

富岡 詔子(高12) 信州大学医学部名誉教授、専門は作業療法学、日本作業療法学会会長、世界作業療法士連盟(WFOT)日本代表

宮下 盛(高14) 近畿大学水産研究所教授・所長、専門は海水養殖学、世界初の完全養殖クロマグロ「近大マグロ」を開発

小峯 和明(高18) 立教大学名誉教授、専門は日本中世説話、主著『今昔物語集の形成と構造』等

仮野 隆司(高19) 大阪医科薬科大学理事、専門は不妊症学、流産に性差があることを解明し論文が英国学術誌『Reproductive BioMedicine』掲載、主著『体外受精は究極の不妊症治療ではない』、厚生労働省近畿厚生局統括指導医療官

高橋 実(高19) 名古屋工業大学学長、愛知産業大学学長、専門はセラミックスプロセス

渡部 直樹(高19) 慶応大学理事・名誉教授、専門は経営学、経営哲学学会会長、文部科学省高等教育局中央教育審議会委員

朝倉 哲郎(高20) 東京農工大学名誉教授、専門は高分子構造解析学、世界初の「シルク製人工血管」を開発、高分子学会フェローアカデミア、日本核磁気共鳴学会会長

勝俣 洋(高20) 東京福祉大学理事、神奈川県教育委員会高校教育課指導主事、本校国語教諭

篠川 賢(高21) 成城大学名誉教授、専門は日本古代史、大和政権の地方官で有力豪族が任命された国造(くにのみやつこ)の実態解明に寄与、

主著『継体天皇』『国造－大和政権と地方豪族』

勝俣 隆(高22) 長崎大学名誉教授、古事記・日本書紀の星座神話を研究、フランスの国際天文学連合(IAU)が小惑星22346番を「Katumatatakashi」と命名することを承認し米国スミソニアン天体物理観測所の小惑星命名委員会(MPC)が発表、日本の国文学者の名前が小惑星に付いたのは初めて、主著『星座で読み解く日本神話』『上代日本の神話・伝説・万葉歌の解釈』

稲津 敏行(高25) 東海大学副学長・教授、専門は有機合成化学、日本糖質学会会長  
安藤 嘉則(高28) 駒沢女子大学・駒沢女子短期大学学長、専門は印度哲学・仏教学  
森 恵美(高29) 千葉大学大学院看護学研究院教授、専門はリプロダクティブヘルス看護学、日本生殖看護学会学術集会優秀賞

柏木 俊行(高30) ソニー株式会社プリンシパルエンジニア、ブルーレイディスクを開発、「ミスター光ディスク」と称される、紫綬褒章

福住 伸一(高31) 理化学研究所革新知能統合研究センター研究員、専門は人間工学、人間工学とソフトウェア工学との橋渡しを標準化活動で推進、経済産業省の産業標準化事業表彰で経済産業大臣表彰

田口 真(高35) 立教大学理学部教授、専門は惑星大気物理学、金星探査機「あかつき」の中間赤外カメラを開発、JAXA宇宙科学研究所「あかつき」プロジェクトに参加し金星を観測中、地球電磁気・地球惑星圏学会の田中館賞

松本 俊彦(高38) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所部長、同センター病院薬物依存センター長、精神医学者、厚生労働省推奨の薬物依存症治療プログラムSMARPP(スマーブ)を開発、自傷行為・自殺の実態解明を研究

中戸川 仁(高45) 東京工業大学科学技術創成研究院細胞制御工学研究センター教授、専門は分子細胞生物学、オートファジーの仕組みを研究し論文が英国学術誌『Nature』掲載、日本学術振興会賞

千葉 大奈(高48) 英国エセックス大学政治学部上級講師(准教授)、澳門大学政治・行政学部副教授(准教授)、専門は国際関係論・政治学、主著『パワーから読み解くグローバル・ガバナンス論』(新世代)

## 【文 学】

牧野 信一(中9) 小説家、代表作『父を売る子』『ゼーロン』『鬼涙村』  
尾崎 一雄(中12) 芥川賞作家、文化勲章、文化功労者、神奈川文化賞、代表作『暢気眼鏡』『まぼろしの記』『あの日この日』

藪田 義雄(中16) 本校在学時に北原白秋と出会い、詩人となり、白秋の遺志を継いでわらべ唄研究をライフワークとする、主著は詩集『白沙の駅』、白秋の初の本格的伝記『評伝 北原白秋』、『日本伝承童謡集成』全6巻、日本童謡賞特別賞

川崎 長太郎(中17相当) 小説家、菊池寛賞、神奈川文化賞、代表作『余熱』『抹香町』

北原 武夫(中19) 小説家・評論家、代表作『妻』『桜ホテル』『告白的女性論』、小説

家宇野千代と結婚し日本初のファッション雑誌『スタイル』創刊、スタイル社社長

小澤 俊夫(高1) ドイツ文学者、国際的な昔話研究者、筑波大学副学長、代表作『グリム童話考』『昔ばなし大学ハンドブック』、世界的指揮者の小澤征爾は実弟

山田 太一(高5) シナリオ作家、日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム代表理事、代表作はテレビドラマ『男たちの旅路』『岸辺のアルバム』『ふぞろいの林檎たち』、小説『異人たちとの夏』、映画『少年時代』等、芸術選奨文部大臣賞、山本周五郎賞、日本アカデミー賞最優秀脚本賞、菊池寛賞、神奈川文化賞

森谷 明子(高32) 推理作家、代表作『千年の黙 異本源氏物語』『れんげ野原のまんなかで』

辻村 七子(高?) 小説家、本名非公開、主著『螺旋時空のラビリンス』(集英社主催2014年ロマン大賞)、『宝石商リチャード氏の謎鑑定』(2020年アニメ化)、『マグナ・キヴィタス』(新世代)

迎 ラミン(高?) 小説家、本名非公開、主著『声の優』『保健室のヨーゴとコーチ』『白黒パレード～ようこそ、テーマパークの裏側へ!～』(2018年第3回お仕事小説コン優秀賞)(新世代)

## 【芸 術】

大田黒 元雄(中5) 日本にドビュッシー等を紹介、日本初の音楽評論家、文化功労者、主著『バッハよりシェーンベルヒ』

綿貫 誉(中15) ハーモニカ奏者、パイプハーモニカを考案、放送・レコードを通じハーモニカを全国に普及、戦後も全国の小中学校音楽教師に器楽合奏を指導

湯川 和雄(高10) 東京都交響楽団首席フルート奏者(35年間)、東京芸術大学室内楽科講師、室内合奏団クレメンティア団長兼フルート奏者、小田原室内合奏団団長兼フルート奏者

青木 淳(高27) 建築家、東京芸術大学教授、吉岡賞、日本建築学会賞、文化庁芸術選奨新人賞、主な作品はルイ・ヴィトン六本木ヒルズ店・ニューヨーク店、青森県立美術館

雨宮 陽一(高31) 現代美術家・飴屋法水、代表作は戯曲「ブルーシート」

栗田 博文(高32) 指揮者、第1回シベリウス国際指揮者コンクール最高位、ヘルシンキフィルハーモニー管弦楽団等に客演

横溝 真(高32) 建築家、東京芸術大学教授、日本建築学会賞、日本建築家協会賞、主な作品は TEM集合住宅、富弘美術館

高木 真介(高33) ギター奏者、マドリード王立音楽院高等科を最優秀で卒業、第3回スペインギター音楽コンクール(東京)、スカンディナヴィアン・ギター・フェスティバル国際コンクール(フィンランド)、第4回イル・ド・フランス国際ギターコンクール(パリ)、第14回レネ・バルトリ国際ギターコンクール(フランス)等に入賞、第16回アリカント国

際現代音楽フェスティバル（スペイン）でポルトガル交響楽団と共演、カタリーナ・グルスカ音楽院ギター科教授、マドリッド在住メゾソプラノ歌手、2016年NHKニューイヤーオペラコンサート初出演、第43回イタリア声楽コンコルソミラノ大賞部門第1位

## 【芸 能】

- 茨 勝行(中20) 観世流能楽師
- 井上 和男(中37) 映画監督、代表作「予科練物語 紺碧の空遠く」「無宿人別帳」「生きてはみたけれど 小津安二郎伝」、小田原市民劇団・こゆるぎ座を露木清(中37)と共に創設
- 大久保 忠幸(中40④) 東映株式会社テレビプロデューサー、主なテレビドラマ「プレイングール」「野望」「松本清張の聞かなかった場所」
- 益田 克幸(中43) テレビアニメ「鉄腕アトム」作曲者
- 山本 廉(中43) 俳優：山本廉(れん)、東宝第3期ニューフェース、アクの強い脇役として活躍、主な出演作品は映画「ゴジラ」、テレビドラマ「ウルトラマン」「岸辺のアルバム」、舞台「ピノキオ」
- 曾我 仁彦(高2) 映画監督、文化庁こども向けテレビ用優秀映画賞、主なテレビ番組「まんが世界昔ばなし」「まんがはじめて物語」「ウルトラマンキッズの母をたずねて3000万年光年」
- 福井 峻(高5) 作曲家・編曲家、主な楽曲は青い三角定規「勲章なんかほしくない」、加藤登紀子「この空を飛べたら」、谷村新司「22歳」、中島みゆき「わかれうた」、同期の山田太一原作テレビドラマ「春の一族」「午後の旅立ち」等
- 杉本 容子(高7) 脚本家、主なテレビドラマ「太陽にほえろ!」「桃太郎侍」「暴れん坊将軍II」
- 坂田 英昭(高8) 創作折り紙作家、サンフランシスコ等で個展開催、幼児・成人対象の折り紙教室講師、主著『よいこのおりがみシリーズ』全10巻、『たのしいおりがみ』全4巻、『おりがみ百科』
- 池田 幸鴻(高9) 俳優・歌手：池田鴻(こう)、劇団四季・東京キッドブラザースに所属、重厚な脇役として活躍、主な出演作品はテレビドラマ「太陽にほえろ!」「特捜最前線」、アニメ主題歌「機動戦士ガンダム」
- 原 薫太郎(高9) 日本テレビ放送網株式会社制作局・番組プロデューサー、主な制作番組「シャボン玉ホリデー」「うわさのチャンネル」「紅白歌のベストテン」「今夜は最高」等、「ビートルズ日本公演」のMAディレクター・チーフプロデューサー、原三郎(中22)は実父
- 佐竹 孝子(高24) 木綿風通織着物「宙」で第69回日本伝統工芸展の日本工芸会新人賞(染織)
- 小宮 孝泰(高26) お笑いタレント(コント赤信号)、俳優
- 巻上 公一(高26) 音楽家、詩人、プロデューサー、バンド「ヒカシュー」のリーダー、詩集『至高の妄想』で岡岡信賞
- 郷田 ほづみ(高28) 声優、俳優、主な出演作品「装甲騎兵ボトムズ」キリコ・キュービー役

- 村越 正規(高28) プロ釣り師・村越正海、フィッシングライター
- 真船 一雄(高35) 漫画家、代表作『スーパードクターK』
- 落合 将(高39) 番組プロデューサー、主な制作番組はNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」、NHK大河ドラマ「平清盛」「麒麟がくる」
- 原田 悦志(高39) 日本国際放送(NHK国際放送局付)チーフプロデューサー、主な制作番組は「NHK歌謡コンサート」「NHKニューイヤーオペラコンサート」「芸術劇場」
- 合田 雅吏(高40) 俳優、TBSドラマ「水戸黄門」に格さん役でレギュラー出演
- 蛭田 健司(高45) 落語家・柳家三三師匠、文化庁芸術祭大衆芸能部門新人賞、神奈川文化賞未来賞、花形演芸大賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞
- 矢戸 誠(高48) 南米ボリビアを代表するフォルクローレ・グループ「ロス・カルカス」のチャランゴ奏者、スペイン語圏日本語教科書に活動が掲載、ボリビアに貢献した日本人に選ばれ日本大使館より貢献賞、年間100回以上のコンサートを世界で行う、ボリビア在住(新世代)
- 杉田 宗弘(高52) お笑い芸人：スベリー杉田、吉本興業所属、特命かながわ発信隊メンバー、大井町笑顔特派員、主な出演はテレビ番組「@JAM TV powered by LIVE DAMSTADIUM(日テレプラス)」、イベント「@JAM EXPO(横浜アリーナ)ステージMC」「TOKYO IDOL FESTIVAL(フジテレビ湾岸スタジオ)ステージMC」(新世代)
- 古屋 沙樹(高62) 作編曲家、世界中から参加がある国際映画音楽コンテストOticons Faculty 2021で日本人初のトップ10入選、自主映画の劇伴音楽からゲーム・海外用広告音楽まで制作、主な作品は映画「偽りのないhappy end」「ミューズは溺れない」、ゲーム「グランツーリスモ7」「Honor of Kings The Little Prince」(新世代)

## 【スポーツ】

- 澁谷 寿光(中7) 箱根駅伝のコースを設計、箱根駅伝審判長、日本陸上競技連盟常務理事、ロサンゼルスオリンピック日本選手団役員、ベルリンオリンピック日本陸上競技総監督、東京オリンピック審判団団長、日本陸上競技連盟功労章、松田町名誉町民、本校物理化学教諭
- 河野 一郎(中12) 第1～4回箱根駅伝・早稲田大学選手、主将、第3回7区区間新・初優勝、第4回2連覇、河野謙三(中15)は実弟
- 河野 謙三(中15) 第2～4回箱根駅伝・早稲田大学選手、第2回1区区間賞、第3回8区区間新・初優勝、第4回5区区間新・2連覇、河野一郎(中12)は実兄
- 長谷川 実(中16) 第2～5・7回箱根駅伝・東京農業大学選手、長谷川博(中18)・長谷川亨(中25)・加藤登(中33)は実弟
- 長谷川 博(中18) 第11～13回箱根駅伝・中央大学選手、長谷川実(中16)は実兄、長谷川亨(中25)・加藤登(中33)は実弟
- 三宅 喜多治(中18) 第5・6回箱根駅伝・日本歯科大学専門学校(現日本歯科大学)選手

原 三郎(中22)	ロサンゼルスオリンピックのボート競技(男子エイト)日本代表選手、東京・メキシコオリンピック漕艇役員、日本漕艇協会(現日本ボート協会)理事長、原四郎(中24)は実弟、原薫太郎(高9)は長男
長谷川 亨(中25)	第12回箱根駅伝・日本大学選手、長谷川実(中16)・長谷川博(中18)は実兄、加藤登(中33)は実弟
西村 秀雄(中26)	デビスカップ日本代表選手
中井 賢二(中27)	第14・15・18回箱根駅伝・早稲田大学選手、第14回2区区間新・初の完全優勝、第15回2連覇、第18回8区区間新、小田原市長中井一郎(中20)は実兄
磯部 健雄(中31)	プロ野球選手、名古屋金鯱軍、投手
加藤 登(中33)	第20・21回箱根駅伝・日本大学選手、第21回優勝、長谷川実(中16)・長谷川博(中18)・長谷川亨(中25)は実兄
福守 尚(中37)	力士：福の守尚(ふくのもりひさし)、荒汐部屋・時津風部屋(当初は双葉山相撲道場)に所属、最高位は東十両15枚目
牧野 博(中38)	第23・24回箱根駅伝・明治大学選手、第23回7区区間賞・優勝
武井 英雄(中43)	第26～29回箱根駅伝・横浜国立大学選手、陸上競技部主将、武井孝雄(高3)は実弟
土屋 邦夫(中44)	第25～28回箱根駅伝・立教大学選手
武井 孝雄(高3)	第28・29・31回箱根駅伝・横浜国立大学選手、武井英雄(中43)は実兄
杉崎 隆志(高4)	第30回箱根駅伝・中央大学選手、4区区間賞
内野 正雄(高5)	メルボルンオリンピックのサッカー日本代表選手、古河電気工株式会社サッカー部(現ジェフユナイテッド千葉)監督
露木 富(高7)	第33・34回箱根駅伝・横浜市立大学選手
帰山 寛之(高17)	第42回箱根駅伝・慶応大学選手
石塚 靖夫(高25)	第52・54回箱根駅伝・筑波大学選手
内野 郁夫(高26)	第51・53・54回箱根駅伝・早稲田大学選手、箱根駅伝主将
森 二郎(高26)	第54回箱根駅伝・筑波大学選手
石川 豊彦(高37)	プロレスラー、格闘探偵団バトラーツ社長
山本 富士雄(高37)	Jリーグ浦和レッズ・ベルマーレ平塚(現湘南ベルマーレ)選手
豊田 雄樹(高47)	第73・75回箱根駅伝・中央大学選手
平野 泰輔(高47)	第75回箱根駅伝・神奈川大学選手
高岡 亮寛(高48)	世界選手権自転車競技大会ロードレースU23日本代表選手、全日本大学対抗選手権ロードレース大会優勝、ツール・ド・おきなわ市民210kmの部6回優勝、自転車による日本縦断ギネス世界記録更新
青木 智史(高50)	プロ野球選手、ドラフト6位、広島東洋カープ、外野手、シアトルマリナーズ等を経て立正大学硬式野球部コーチ
松下 祐樹(高62)	世界陸上北京大会・リオデジャネイロオリンピックの400mハードル日本代表選手、ミズノトラッククラブ所属、小田原市民栄誉賞

## 【報 道】

岩崎隆次郎(高2)	NHKアナウンサー
木島 章夫(高5)	株式会社ラジオ日本アナウンサー
久能 靖(高6)	日本テレビ放送網株式会社アナウンサー、皇室ジャーナリスト
鈴木 款(高32)	フジテレビ「報道2001」ディレクター、ニューヨーク支局長、経済部長、解説委員室シニアコメンテーター
村上 和彦(高35)	日本テレビ放送網株式会社制作局専門部長兼演出家、主な担当番組「24時間テレビ」「スッカリ!!」
小澤 康喬(高50)	NHKアナウンサー、出演番組「ニュースウォッチ9」「情報まるごと」「あしたも晴れ!人生レシピ」
向笠康二郎(高57)	気象予報士、NHK東京放送局の気象キャスター、出演番組「NHKニュース7」(土日祝)

## 【軍事・防衛】

奥津 啓三郎(中1)	海軍少将、第56師団兵務部長
永見 俊徳(中1)	陸軍中将、第55師団長
元泉 威(中1)	海軍少将、第5根拠地隊(サイパン島)司令官
山口 次平(中5)	海軍中将、巡洋戦艦「霧島」艦長、施本総務部長
勝俣 静三(中7)	海軍少将、第18聯合航空隊司令官、第101航空戦隊司令官
古宮 正次郎(中8)	陸軍少将、歩兵第29聯隊長
原 四郎(中24)	大本営陸軍参謀、戦史編纂官として『大本営陸軍部 大東亜戦争開戦経緯』刊行、原三郎(中22)は実兄
新田 善三郎(中29)	大本営海軍参謀、戦艦「大和」主砲発令所長
佐藤 文夫(中37)	海将、舞鶴地方総監、横須賀地方総監
高橋 恆清(高5)	空将、統合幕僚学校長、航空教育集团司令官
内田 耕太郎(高8)	海将、護衛艦隊司令官、舞鶴地方総監、佐世保地方総監
大津 範夫(高30)	航空自衛隊ブルーインパルス編隊長

## 【その他】

小和田 康長(中20)	府中刑務所所長、府中刑務所は日本最大の刑務所で寛政2年(1790)に老中松平定信が墨田川河口に石川島人足寄場を設置したことに始まる
松本 円蔵(中25)	警視庁中央警察署次長(警視)、警視は警視総監、警視監、警視長、警視正に次ぐ第5位の階級、警察署長は警視か警視正の警察官を充てることが多い
三橋 孝(中35)	日本航空株式会社国際線機長、ジャンボジェット(ボーイング747)のチェッカー(査察操縦士)・シミュレーター教官
高橋 重男(中37)	日本航空株式会社機長
山口 義人(高4)	日本ハリストス正教会・首司祭、同教会は東京復活大聖堂教会(ニコライ堂)を本拠とし、首司祭は司祭の最高位で主教とほぼ同格に扱われることもある
橋本 尚信(高19)	東寺真言宗・宗務総長、宗務総長は管長とともに宗教法人を代表する役職で事務方の長